

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	景観・自然環境の保全			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	環境課
	基本施策	インフラ整備プロジェクト	関係課名	農政課・都市計画課
	施策コード	A-1-4	シート作成者名	野本 誠

① 施策の現状と課題	<p><景観形成> わが国で初めての景観に関する総合的な法律として、景観法が平成16年6月18日に公布されました。本市においては「行橋市景観形成基本計画」を策定し、本市の景観に関する基礎調査を行い、景観形成の方向性を明確にするとともに、基本方針として</p> <p>①豊かな自然環境と調和する景観 ②伝統ある歴史的・文化的資源を守り風情ある景観 ③自然と共生した快適で魅力ある町並み景観</p> <p>を形成していくこととしています。</p> <p><自然環境の保全> 今日の環境問題は、地球温暖化など国境を越えた地球規模の空間的な広がりをみせています。このような中、本市は環境保全対策として大気汚染、水質汚濁及び騒音などの監視・測定を定期的実施するとともに、省エネルギーや二酸化炭素排出量削減に向けた取組みを行ってきました。また、稲童工業団地など市内に立地する企業と環境保全協定を結ぶなど、産業型の公害防止のための規制強化にも努めています。</p> <p>環境問題の取組みは、行政による環境の保全と創造に関する総合的かつ計画的な推進と、事業者及び市民による積極的な行動と協力が必要です。</p> <p>そこで本市では、環境施策を明確化するとともに、市（行政）、事業者及び市民が取り組むべき課題を着実に実行していくための指針として「行橋市環境基本計画」を策定しています。今後は、三者協働のもとこの計画を着実に推進していく必要があります。</p>
	<p>② 施策の基本方針</p> <p>景観が市民の共有財産であることの重要性を認識し、緑のやまなみや水辺、田園等の自然風景と調和した景観づくり、歴史・文化を守り、育み、伝える風情ある景観づくり、個性ある交流拠点都市の活力と自然が共生した魅力ある町並み景観づくりについて積極的に推進します。</p> <p>また、恵まれた自然や歴史的に貴重な史跡など自然環境を含めた生活環境を保全し、行政、事業者及び市民のすべてが環境保全に関する意識を高め、日常生活や行動等を見直すことで、よりよい環境づくりを進めていきます。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 行橋市景観形成基本計画の推進</p> <p>市民が身近に歴史・文化にふれることのできる環境や市街地内の河川や道路沿いの環境等を整備するとともに、景観を資源として捉え、周辺を含めた良好な景観の形成を進めるため、「行橋市景観形成基本計画」を実行していきます。</p>
	<p>主要施策名(2) 行橋市環境基本計画の推進</p> <p>本市が目指す望ましい環境像「緑と水を大切に、快適に暮らせる環境共生都市」を実現するため、「行橋市環境基本計画」を着実に実行していきます。</p>
	<p>主要施策名(3) 行橋市緑の基本計画の推進</p> <p>緑の募金の推進や、緑地の保全・公園緑地などの整備に努め、自然保護・緑地の創出を推進するため、「行橋市緑の基本計画」を実行していきます。</p>
	<p>主要施策名(4) 環境美化意識・緑化意識の高揚</p> <p>市民ボランティアやNPO法人等が行う環境美化活動やイベントを支援するとともに、多くの市民が参加できる「市民一斉清掃の日」を設け、意識啓発を図ります。</p>
	<p>主要施策名(5) 水辺空間の有効利用と親水性の向上</p> <p>市民参画による水辺の維持管理活動を支援するとともに、自然観察のできる場所や水に近づける場所を設けるなど、水辺空間の親水性を向上させます。</p>
	<p>主要施策名(6) 公害防止対策の推進</p> <p>大気、水質及び騒音等の測定並びに監視を継続実施し、また新たに立地する企業と環境保全協定を結ぶなど、公害防止環境保護の取組みを推進します。</p>
	<p>主要施策名(7) 生活雑排水対策の推進</p> <p>公共下水道や農業集落排水が整備されていない地域において、合併処理浄化槽の設置を推進し、河川や海域の水質保全に努めます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績		評価年度	目標値				達成度の説明 (H24年度)
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
	街の景観の美しさに関する市民満足度(%)	32.1	-	-				40.0	市民アンケート等の実施をしていないため、評価できません。
	緑地の保全の取組みに関する市民満足度(%)	35.1	-	-				40.0	市民アンケート等の実施をしていないため、評価できません。
	今川の水中浮遊物質量(mg/l)	7.0	7.0	7.0				5.0	行橋市内の河川水質等の水質については、毎年調査・分析を委託し、監視を行っています。
	稲童工業団地の降下ばいじん量(t/km ² /日)	4.1	2.0	2.0				2.0	工業団地内での降下ばいじん調査は、毎年調査・分析を委託し、監視を行っています。

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H23年度実績値	H24年度実績値	H25年度見込額	
1	やすらぎ苑施設管理事業	火葬場運営に伴う施設管理事業	32,380	35,210	40,344	1
2	花いっぱい運動事業	花いっぱい運動による圃場での育苗業務	5,213	4,452	4,775	7
3	環境美化運動事業	環境美化行動の日の実施及び草刈勧告等の事業	3,561	12,916	8,695	4
4	汚泥収集事業	地域住民の排水路清掃により排出された汚泥の回収事業	2,036	1,946	2,120	5
5	生活排水対策推進事業	生活雑排水の浄化を目的とした事業	2,868	2,898	2,971	6
6	合併処理浄化槽設置補助事業	合併処理浄化槽設置整備のための補助金交付事業	65,283	66,540	70,104	2
7	明るく美しい町づくり推進協議会助成事業	明るく美しい住みよい町づくりを目的とした協議会に対する助成金交付事業	3,310	3,310	3,310	8
8	花とみどりの会運営助成事業	花いっぱい運動の実施と会の運営に対する助成事業	1,820	1,820	1,820	9
9	環境対策事業	水質・ダイオキシン・河川水・海水等の分析及び環境対策事業	7,676	7,004	7,085	3
10	自動車騒音常時監視業務	自動車騒音を監視する業務	1,470	3,045	1,856	10
11	花あふれるふくおかの街モデル地区継続事業	H17からは、緑化推進を目的とした市事業に。駅敷地内に花壇等設置する事業	3,200	1,990	2,710	13
12	森林保護事業	害虫駆除等による、森林の多面的機能維持を目的とした事業	3,666	4,543	4,778	12
13	荒廃森林再生事業	荒廃森林再生にかかる調査、工事をする事業	8,380	7,888	7,957	11
14						

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>事務事業の中には、事業開始後の期間が経過したものがあり、事業そのものの必要性、あるいは類似した事務事業の一化などを検討する必要がある。実施計画ローリングの際は、これまでの事業効果を再検証し、真に必要な事務事業を取捨選択していく必要がある。</p>
---------------------------------	--

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>海、山、川に恵まれた行橋市が、これからも良好な景観・自然環境を保全していくためには、従来からの様々な資源を保護、整備することはもちろん、市民の生活、生産活動から生じる様々なマイナス要因をいかに軽減させるかが大変重要である。PM2.5に象徴される大気汚染や、山林の荒廃が河川、海洋汚染につながるなど、非常に広域的な対策も必要であるが、併せて住民一人ひとりの環境保全に対する意識の高揚が不可欠であるため、住民を巻き込んだ、多方面からの取り組みを更に進めていく必要があると考える。</p> <p>また、それらの取組みは『景観形成基本計画』と『環境基本計画』、『緑の基本計画』と3つの計画に基づき実施していくものであろうが、それぞれの計画が別々に実行されるのではなく、上手く整合性を図ることによって相乗効果を生むように、行橋市の景観・自然環境の保全に繋がることを期待する。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策の最終方針 (市長の意見)	<p>市民が安心安全に生活ができる環境づくりを目指し、行政と市民の意識が一つになる組織づくりや、現在ある制度及び組織の見直しを図り、市民参加型の施策を立案します。また、市民の要望や意見交換ができる場の提供をまいります。</p>
-------------------------	---